

第 11 章	社会(地理)	名前:	日 付	No.03
	九州地方			

[問題 1]

福岡県の工業について、次の文中の①～③にあてはまる語句を下の[]の中からそれぞれ 1 つずつ選べ。

福岡県の工業は、1960 年代には(①)業が中心で、特に北九州市は(①)業とその関連工場で繁栄した。(①)の生産が減ってくると、それまでにつちかった技術を生かして(②)を処理する産業がさかんになった。北九州市は、環境と開発の両立をめざし、「(③)な社会」の実現に向けたさまざまな努力を行っている。

[鉄鋼 機械 化学 廃棄物 持続可能 リサイクル]

[解答欄]

①鉄鋼	②廃棄物	③持続可能
-----	------	-------

[解説]

[北九州市のエコタウン構想]
 エコタウン: 廃棄物のリサイクル工場を集めた
 持続可能な社会 をめざしている
 環境モデル都市 に選定された



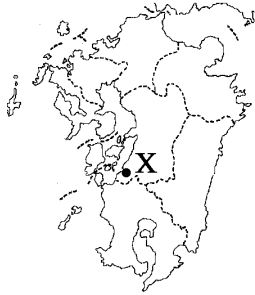
北九州市で鉄鋼の生産が減ってくると、それまでにつちかった技術を生かし、**廃棄物を処理する産業がさかんになった**。現在、北九州市には、ペットボトルやパソコン、自動車部品などの**廃棄物をリサイクル**する工場を旧製鉄所跡地に集めた**エコタウン**が形成されている。

北九州市のエコタウン構想は、資源を循環させる産業を育てることで、未来に生きる人々によりよい社会を伝え残していこうとする取り組みである。このような社会を、「**持続可能な社会**」という。

2008 年に、北九州市は水俣市とともに国から**環境モデル都市**に選定された。

[問題 2]

地図中の X で発生した公害病の名前と原因となった物質名を答えよ。



[解答欄]

公害病名：水俣病

原因：メチル水銀

[解説]

[水俣病→環境モデル都市]

水俣病：メチル水銀が原因

人々の努力で、水俣湾は安全な海に

水俣市は環境モデル都市に選定された



水俣病は、日本の四大公害病の 1 つに数えられている。この病気は、熊本県水俣市にある化学工場が排水とともに海に流したメチル水銀が魚に蓄積し、その魚を人間が食べたことで発生した。

その後、水俣湾は人々の努力により安全な海に生まれ変わり、漁業も行われるようになった。

住民たちは、きめ細かいごみの分別やリサイクルにも積極的に取り組み、2008 年には国から環境モデル都市に選定された。

[問題 3]

次の各問いに答えよ。

- (1) 九州の中心である県の県庁所在地を a～d から選び、①記号と、
②都市名を答えよ。
- (2) (1)のような地方の中心となる都市を何というか。次の[]から 1 つ選べ。

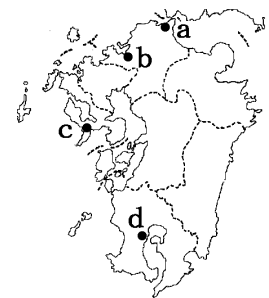
[地方中心都市 地方中枢都市 地方中核都市 地方中央都市]

[解答欄]

(1)①b

②福岡市

(2) 地方中枢都市



[解説]

日本では地方ごとに、九州地方の福岡市、中国・四国地方の広島市、東北地方の仙台市、北海道地方の札幌市などのような中心都市がある。これらは、地方中枢都市とよばれ、国の出先機関や大企業の支社が集まり、交通のなめにもなっている。福岡市にある博多駅は、鹿児島市まで全線開通した九州新幹線をはじめとした鉄道で、九州地方の各地と結ばれている。

また、福岡空港から国内やアジアの各地へ、数多くの航空路線が開設されている。

[福岡市] 地方中枢都市



[問題 4]

次の文の①～④に適語を入れよ。

日本では、地方ごとに、九州地方の(①)市、中国・四国地方の(②)市、東北地方の仙台市、北海道地方の(③)市などのような中心都市がある。これらは、(④)都市とよばれ、国の出先機関や大企業の支社が集まり、交通のかなめにもなっている。

[解答欄]

①福岡	②広島	③札幌	④地方中枢
-----	-----	-----	-------

[問題 5]

次の写真Ⅰ、Ⅱを見て、以下の各問いに答えよ。



- Ⅰ、Ⅱの災害をそれぞれ何とよぶか。
- Ⅰ、Ⅱの災害に対する備えとして適切なものを次のア～エから2つずつ選んで記号で答えよ。
ア 防災マップを作り、市民の防災意識を高める。 イ 砂防ダムを建設する。
ウ 地下に貯水施設を作る。 エ 間伐や植林を行い、森の保水力を高める。
- Ⅱの災害が都市部で起こりやすい理由を「都市化」「舗装道路」の語句を用いて説明せよ。
- 都市の中心部で気温が高くなる現象を何というか。

[解答欄]

(1) Ⅰ 土砂くずれ	Ⅱ 洪水	(2) Ⅰ イ、エ	Ⅱ ア、ウ
(3) 都市化が進んで水がしみこみにくい舗装道路がふえ、雨がいきなり川へ流れ出るため。			
(4) ヒートアイランド現象			

[解説]

[福岡市:何度も洪水]
原因:都市化→舗装道路→雨が一気に川へ流れる
対策:地下に貯水施設, 防災マップ

九州地方最大の都市で、都市化が進んだ福岡市は、これまで何度も洪水を経験してきた。

都市化が進むと、水がしみこみにくい舗装道路が増え、雨が一気に川へ流れ出るため、洪水が起こりやすくなる。現在では、洪水を防止するために地下に貯水施設をつくり、雨水をためるなどの対策がとられている。また、被害の範囲や程度を予想した防災マップを作成し、市民の防災意識を高めるように働きかけている。

[問題 6]

沖縄の歴史について書かれた次の文の()にあてはまる語句を書け。

(①)王国として交易で栄え、首里城は世界遺産に登録された。第二次世界大戦の末期に激戦地となり、終戦後は(②)の統治が続いたが、1972年に日本に復帰した。しかし(③)条約があるため現在も(②)軍基地がおかれ、その面積は、沖縄島の約2割をしめている。

[解答欄]

①琉球	②アメリカ	③日米安全保障
-----	-------	---------

[解説]

15世紀 琉球王国
戦後27年間 アメリカの統治下
日米安全保障条約で
現在も アメリカ軍基地(約2割)



沖縄は、古くから日本、中国、東南アジアとの交易をさかんに行い、それらの国の影響を受けた独自の文化を発展させてきた。15世紀になると、琉球王国という1つの独立した国家が成立したが、16世紀の初めに、薩摩の島津氏によって征服された。江戸時代には薩摩藩の支配を受けながら、清にも属する形をとっていたが、明治になって、日本は琉球を沖縄県として領土に組み入れた。

太平洋戦争の末期の1945年3月に、アメリカ軍が沖縄に上陸し、激しい地上戦が展開され、双方に多くの犠牲者が出た。戦後、沖縄はアメリカの統治下におかれ、アメリカ軍の基地として使用された。

1972年に、アメリカとの交渉の末に、沖縄の返還がおこなわれた。しかし、日米安全保障条約により、基地の多くはそのまま残されている。

[問題 7]

次の文を読んであとの各問いに答えよ。

沖縄は1月でも暖かく、島には(①)畑やパイナップル畑が多く広がっている。島のまわりは(②)が発達した海が広がっている。こうした自然を生かした観光産業が重要な産業になっている。

(1) ①にあてはまる農産物は沖縄が日本一の生産をあげている。この農産物の名前を答えよ。

(2) ②にあてはまる語句を答えよ。

(3) 観光産業は、第何次産業か。

(4) 文中に「1月でも暖かく」とあるが、沖縄の気候帯名を答えよ。

[解答欄]

(1) さとうきび	(2) さんごしょう	(3) 第3次産業	(4) 亜熱帯
-----------	------------	-----------	---------

[解説]

沖縄は、冬でも暖かい亜熱帯の気候であり、島のまわりにはさんごしょうが広がっている。沖縄には、さんごしょうのある美しい海が広がるなどゆたかな自然、世界遺産に登録された首里城などの琉球王国の遺跡、ひめゆりの塔などの太平洋戦争の戦跡などがあり、これらをいかした観光産業(観光業)がさかんである。年間約600万人の観光客が使うお金は、沖縄の経済を支えている。沖縄は、観光産業(観光業)などの第3次産業人口の割合が、全国でも高い県となっている。しかし一方では、開発によって海が汚染されるなどの環境問題も生じており、開発と豊かな自然環境との共生のあり方が課題になっている。

[沖縄の観光産業]
さんごしょうなど→観光産業
→第3次産業の人口の割合が高い